

平成 30 年度科学館特別展について

1 名 称 「恐竜最前線」

2 ねらい

- (1) 1934 年、日本（樺太）で初めて発見された恐竜であるニッポノサウルスの全身骨格標本と 2003 年に北海道むかわ町穂別で発見されたハドロサウルス（和名：むかわ竜）に焦点を当て、フクイラプトルで有名な福井県以外の日本にも恐竜がいたという事実やそれら恐竜の実態について展示・紹介し、来館者の興味・関心を高める。
- (2) 白亜紀に隆盛を極めた最強肉食恐竜ティラノサウルスをはじめ、恐竜が起源した三畳紀からジュラ紀、白亜紀の時代順に代表的な恐竜の生態復元モデルや全身骨格、標本を展示・紹介することで恐竜の起源や進化、その生態など基本的な知識を学ばせる。
- (3) 現代の鳥類や爬虫類の骨格標本等との比較を通して恐竜の起源や進化、現世の生物とのつながりなど自然科学（古生物学）への興味・関心を高揚させる。

3 開催期間

平成 30 年 7 月 21 日（土）～平成 30 年 8 月 26 日（日）【開館：33 日間】

休館日：7 月 23 日（月）30 日（月），8 月 6 日（月）20 日（月）

◎開展記念特別講演会について

期日：7 月 21 日（土） 11:00～11:40

会場：3 階エントランスホール

4 開催場所

仙台市科学館：2 階特別展示室，3 階エントランスホール，1 階市民の理科室

5 主催・共催・後援等

- (1) 主 催 仙台市教育委員会 ※主管 仙台市科学館
- (2) 協 力 北海道大学総合博物館，むかわ町穂別博物館，東北大学総合学術博物館，群馬県立自然史博物館，ミュージアムパーク茨城県自然史博物館，長野県古生物学博物館，株式会社 IKKI
- (3) 後 援 宮城県教育委員会，河北新報社，朝日新聞仙台支局，毎日新聞仙台支局，読売新聞社東北総局，産経新聞社東北総局，日本経済新聞社仙台支局，NHK 仙台放送局，T B C 東北放送，仙台放送，ミヤギテレビ，K H B 東日本放送，C A T - V，J : C O M 仙台キャベツ，株式会社エフエム仙台，仙台シティエフエム

6 内 容

(1) 概要

これまでの恐竜研究において、地球上の全ての恐竜が発掘され尽くしたわけではなく、恐竜の化石が発見されておおよそ 170 年が経過した現在においても、様々な種の発見と研究の積み重ねによって、新しい姿やその生態が解明されている。特に日本国内では、1934 年に樺太（現在のロシア領）で発掘された「ニッポノサウルス」を皮切りに、1978 年に岩手県岩泉町で発見された竜脚類の化石発見、近年では 2003 年に北海道むかわ町穂別で発見された化石が、「鳥脚類ハドロサウルス（和名：むかわ竜）」であることが判明し、2017 年 4 月にその全身骨格の全貌が明らかになっている。

本特別展では、ニッポノサウルスの全身骨格の東北初公開を中心に、ハドロサウルス（和名：むかわ竜）の化石、全身骨格標本のバナー、発掘記の展示など日本の恐竜の実態とその最新研究に迫る。またあわせて、最強肉食恐竜ティラノサウルスやコリトサウルス、マイアサウラをはじめ、恐竜が起源したとされる三畳紀からジュラ紀、白亜紀にかけて繁栄した恐竜についても生態復元モデルや全身骨格、関連化石、標本等を展示し、恐竜の起源や進化、その生態について紹介する。さらに、VR 体験エリアを設け、最新科学技術を用いて恐竜が繁栄した時代の海の様子を紹介する。

(2) 展示・体験内容 **※別紙参照**

以下のように館内に展示・体験エリアを 3 つ設け、合計 9 コーナーを設置する。

① 2 階特別展示室【展示・体験】

(ア) 「プロローグ ～地球生命史で恐竜時代を知ろう！～」

恐竜系統樹や始祖鳥の生体復元模型、ダチョウ、爬虫類の骨格標本を展示し、恐竜と現世の生物とのつながりやその関係性を紹介する。

(イ) 「日本の恐竜ワールド ～日本の恐竜再発見！～」

日本の恐竜に焦点を当てて紹介する。日本（樺太）で初めて発見された恐竜であるニッポノサウルスの全身骨格標本や北海道むかわ町穂別で発見されたハドロサウルス（和名：むかわ竜）の化石、全身骨格バナー等を紹介する。また、むかわ竜の発掘記を放映する。

(ウ) 「三畳紀ワールド ～恐竜の起源を知ろう！～」

恐竜の起源とされる中生代三畳紀について紹介する。鳥盤類のピサノサウルスや竜盤類のエオラプトルなど恐竜時代の初期の恐竜を生体復元模型で紹介する。

(エ) 「ジュラ紀ワールド ～巨大な恐竜の登場～」

恐竜が巨大化した中生代ジュラ紀について紹介する。竜脚類スーパーサウルスやディプロドクスの頭骨等を展示する。また、ジュラ紀の環境ジオラマや巨大化の謎を紹介する映像を放映する。

(オ) 「白亜紀ワールド ～最強の肉食恐竜ティラノサウルス～」

恐竜が最も繁栄し、その後絶滅に至った白亜紀について紹介する。最強肉食恐竜ティラノサウルスの全身骨格標本やエドモントサウルスの生体復元模型を展示する。また、ティラノサウルスに関する最新の恐竜研究の成果に基づいたCG映

像を巨大スクリーンで上映する。

(か)「化石発掘ラボ」

アンモナイトや恐竜等のレプリカ化石の発掘体験ができるエリアを設ける。

◎特別展示室内において、スマートフォンを使ったクイズコンテンツ「クイズラリー ～目指せ恐竜博士！（仮）～」を設定する。

② 3階エントランスホール【展示】

(ア)「宮城県の中生代化石」

宮城県で産出された中生代の化石を紹介する。

(イ)「段ボール恐竜の展示」

特別展へ関心を持ってもらうためにティラノサウルスの大型段ボール恐竜を展示する。

③ 1階市民の理科室（予定）【体験】

(ア)「古代の海をダイビングしよう！（仮）」：VR体験

最新科学技術を用いて、恐竜が繁栄した白亜紀時代の海の様子を紹介する。

7 関連イベント

特別展への関心を高めるために以下の関連イベントを開催する。 **※別紙参照**

- | | |
|-----------------|------------------|
| (1) 恐竜最前線講演会 | 7月21日（土），8月4日（土） |
| (2) 恐竜おりがみ教室 | 7月28日（土） |
| (3) 化石鑑定会 | 8月11日（土） |
| (4) 化石レプリカをつくろう | 8月18日（土） |
| (5) 恐竜ぬりえ | 開催期間中 |
| (6) VR体験広場 | 開催期間中 |

8 運営・広報等

- (1) 展示会場に順路を設け、各コーナーにインストラクターを配置し、見学者への解説や誘導を行い、展示内容を理解してもらえるよう工夫する。
- (2) 市政だよりをはじめ、TVや新聞、SNS等のメディアを通じた広報活動を積極的に行う。
- (3) ポスターやチラシを作成し、主に市内幼稚園・保育園、小中学校・高校・大学、市内各施設及び宿泊施設等に配布・掲示する。また、東北地区の科学館等の施設にポスターおよびリーフレットを配布する。
- (4) 売店で関連グッズなどを扱ってもらえるように要請する。

9 効果

日本で初めて発見されたニッポノサウルスや日本の恐竜研究の最新成果、世界的に有名なティラノサウルス等を展示・紹介することで恐竜をはじめとする古生物に関する興味・関心を高めることができると考えられる。また、恐竜と現世の生物を比較したり、恐竜の起源や進化を知ったりすることで、自然科学への興味・関心を高揚することが期待できる。

平成30年度仙台市科学館特別展入館料について

名称：【恐竜最前線】

期間：平成30年7月21日（土）～平成30年8月26日（日）【開館：33日間】

仙台市科学館条例第5条第2項に基づき、特別展の入館料を下記のとおり定める。

記

1 個人入館料 一般900円 高校生600円 小学生・中学生300円

※特別展の入館料を納入したものは、常設展は無料とする。

2 団体入館料 10名以上の利用者は、一律100円引きとする。

3 減免の取扱 仙台市社会教育施設観覧料・入館料減免要領第3条第1項の規定に基づき減免する。